

平成25年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成25年4月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社イーピーメント

コード番号 6052 URL <http://www.epmint.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 秀高

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 越川 勝義

TEL 03-5319-3530

四半期報告書提出予定日 平成25年5月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	2,803		57		57		17	
24年9月期第2四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	9.32	
24年9月期第2四半期		

(注) 当社は、平成24年9月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第2四半期は非連結での業績を開示しております。そのため、平成24年9月期第2四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年9月期第2四半期	4,442		3,325		74.9	
24年9月期	4,857		3,413		70.3	

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 3,325百万円 24年9月期 3,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期		0.00		55.00	55.00
25年9月期		0.00			
25年9月期(予想)				55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,723	0.4	322	61.0	325	61.2	175	54.4	91.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	1,921,946 株	24年9月期	1,921,946 株
期末自己株式数	25年9月期2Q	144 株	24年9月期	19 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	1,921,828 株	24年9月期2Q	1,920,900 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成25年5月14日(火)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3 . 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第 2 四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) セグメント情報等	7
4 . 補足情報	7
(1) 四半期連結損益計算書	7
前第 2 四半期連結累計期間	7
(2) 四半期連結 キャッシュ・フロー計算書	8
前第 2 四半期連結累計期間	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第2四半期累計期間については、平成24年4月1日付けで連結子会社を吸収合併しており、連結損益計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書を作成していないため、前年同四半期比較については記載しておりません。

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、震災からの復興需要が継続するなか、平成24年12月の政権交代による新政権下での金融緩和や経済成長政策への期待感から、為替相場が円安に転じるとともに株式市場への回復も見られました。しかしながら、欧州の債務問題や世界経済の減速等の不安要素は解消されておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

医薬品業界におきましても、主力製品の特許切れ、世界的な新薬承認審査の厳格化等により厳しい環境にあります。また、国内市場におきましても、後発品使用促進等の医療費抑制策の推進で製薬各社の取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。

一方、医療機関は診療報酬の改定等による医療費抑制策の推進で厳しい経営環境が続いており、医療外収入の臨床試験を受託・実施する医療機関が増加しております。新たな動きとしては、2012年3月に「臨床研究・治験活性化5か年計画2012」が策定され、国策としてより一層の臨床研究・治験の実施環境の整備を推進する方針が出されました。

このような状況の中、当社が所属するSMO(治験施設支援機関)業界は、臨床試験の効率的な運営ニーズから、多くの医療機関と提携している大手に集約して発注する傾向が強まっており、大手による寡占化が加速しております。

こうした環境のもと、当社は優良な医療機関との提携拡大及び治験体制の整備、プロジェクト管理体制の強化、提案型営業の全面展開等の営業体制の強化を図ることにより業績の拡大に努めてまいりました。その結果、がん及びその周辺領域の高難易度領域における案件獲得は順調に積み上げつつある状況であります。しかしながら、クリニックが主体となる生活習慣病等の領域については、案件自体が減少傾向にあることもあり、新規受注が前期を大きく下回る結果となりました。この対策として、前期末までに受注したプロジェクトを前倒しで進捗促進を図ることによって売上高増加を狙ったものの、新規受注減少による影響を補填するには至らず、売上高は大変厳しい結果となりました。

利益面では、新拠点開設や今後の開発動向に対応すべく、期初より全国を7地域のブロックに分割し、各ブロックに提携医療機関の獲得から新規案件の受注、更に登録の進捗促進までを担う渉外担当を前倒しで増員配備したことにより、売上原価が大幅に増加いたしました。この組織編成により医療機関との提携拡大については一定の効果が出ているものの、売上高に寄与するまでにはタイムラグがあるため、利益を大きく圧迫いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,803百万円となりました。利益面では、営業利益57百万円、経常利益57百万円、四半期純利益は17百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末より414百万円減少し、4,442百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少1,214百万円と関係会社短期貸付金の増加500百万円等により流動資産が799百万円減少し、固定資産が384百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末より326百万円減少し、1,117百万円となりました。このうち流動負債が336百万円減少しております。この主な要因は、未払法人税等が60百万円、賞与引当金が96百万円、その他が174百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末より88百万円減少し、3,325百万円となりました。自己資本比率につきましては、前事業年度末の70.3%から当第2四半期会計期間末74.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、1,971百万円となっており、前事業年度末と比較して1,214百万円減少しております。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果使用した資金は158百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益57百万円、減価償却費35百万円、売上債権の減少額60百万円等の収入があった一方で、賞与引当金の減少額96百万円、前受金の減少額77百万円、その他77百万円、法人税等の支払額70百万円等の支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は950百万円となりました。これは主に無形固定資産の取得83百万円、投資有価証券の取得308百万円、貸付けによる500百万円等の支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は105百万円となりました。これは主に配当金の支払額105百万円等の支出によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成25年4月17日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました平成25年9月期通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,085,706	1,871,254
売掛金	1,002,360	941,374
有価証券	100,016	100,049
仕掛品	837	1,115
短期貸付金	-	500,000
その他	214,231	190,318
流動資産合計	4,403,152	3,604,113
固定資産		
有形固定資産	92,823	112,314
無形固定資産	180,155	208,491
投資その他の資産		
その他	183,973	520,290
貸倒引当金	2,531	2,471
投資その他の資産合計	181,442	517,819
固定資産合計	454,420	838,625
資産合計	4,857,572	4,442,739
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	82,921	22,390
賞与引当金	258,053	161,301
預り金	420,002	414,378
その他	601,129	427,068
流動負債合計	1,362,106	1,025,138
固定負債		
役員退職慰労引当金	45,745	50,030
資産除去債務	36,137	42,069
固定負債合計	81,883	92,100
負債合計	1,443,990	1,117,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	478,975	478,975
資本剰余金	599,195	599,195
利益剰余金	2,335,459	2,247,679
自己株式	47	350
株主資本合計	3,413,582	3,325,499
純資産合計	3,413,582	3,325,499
負債純資産合計	4,857,572	4,442,739

(2) 四半期損益計算書
(第 2 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	当第 2 四半期累計期間 (自 平成24年10月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
売上高	2,803,109
売上原価	2,216,826
売上総利益	586,283
販売費及び一般管理費	529,279
営業利益	57,003
営業外収益	
受取利息	715
営業外収益合計	715
経常利益	57,718
税引前四半期純利益	57,718
法人税、住民税及び事業税	13,582
法人税等調整額	26,210
法人税等合計	39,793
四半期純利益	17,925

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	57,718
減価償却費	35,313
のれん償却額	11,188
賞与引当金の増減額 (は減少)	96,752
役員退職慰労引当金の増減額 (は減少)	4,285
売上債権の増減額 (は増加)	60,985
前受金の増減額 (は減少)	77,925
預り金の増減額 (は減少)	5,623
その他	77,213
小計	88,024
法人税等の支払額	70,865
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	32,554
無形固定資産の取得による支出	83,829
投資有価証券の取得による支出	308,508
貸付けによる支出	500,000
敷金及び保証金の差入による支出	26,427
その他	1,143
投資活動によるキャッシュ・フロー	950,176
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	302
配当金の支払額	105,049
財務活動によるキャッシュ・フロー	105,352
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	1,214,418
現金及び現金同等物の期首残高	3,185,723
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,971,304

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社は、報告セグメントがSMO事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

4. 補足情報

当社は、前第2四半期累計期間においては、株式会社エスメディサを連結子会社としていたため、四半期連結財務諸表を作成しておりました。前第2四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書は以下のとおりであります。

(1) 四半期連結損益計算書

前第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	2,891,772
売上原価	1,918,720
売上総利益	973,052
販売費及び一般管理費	613,862
営業利益	359,189
営業外収益	
受取利息	259
その他	190
営業外収益合計	450
営業外費用	
支払利息	668
支払保証料	659
その他	165
営業外費用合計	1,494
経常利益	358,145
税金等調整前四半期純利益	358,145
法人税、住民税及び事業税	185,901
法人税等調整額	14,880
法人税等合計	200,781
少数株主損益調整前四半期純利益	157,363
四半期純利益	157,363

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
前第 2 四半期連結累計期間

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 3 月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	358,145
減価償却費	36,200
のれん償却額	33,167
賞与引当金の増減額 (は減少)	28,244
役員退職慰労引当金の増減額 (は減少)	669
売上債権の増減額 (は増加)	261,251
預り金の増減額 (は減少)	111,636
その他の流動資産の増減額 (は増加)	17,311
その他の流動負債の増減額 (は減少)	186,493
その他	3,673
小計	450,455
法人税等の支払額	133,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	317,430
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	34,078
無形固定資産の取得による支出	33,350
敷金及び保証金の差入による支出	20,137
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	29,309
その他	2,674
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,931
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	335,221
株式の発行による収入	2,300
配当金の支払額	85,871
財務活動によるキャッシュ・フロー	418,792
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	162,293
現金及び現金同等物の期首残高	2,800,433
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,638,140